

横浜市立洋光台第一小学校



学校だより

令和5年6月30日発行

令和5年度



だれもが安心な学び舎

校長 千本 恵子

梅雨を彩る紫陽花が美しく咲いています。本校の「洋一ガーデン」でも紫陽花を含め、様々な植物や生き物が季節の訪れを知らせてくれます。理科や生活科の時間には、子どもたちが、栽培している植物や池の生き物の成長の様子を熱心に観察しています。また、休み時間には、1年生から6年生までの年齢の違う子どもたちが、一緒になって目を輝かせ夢中になって動植物と触れ合っている姿が見られます。約束したわけでもなく、何年生の誰なのかも分からないのかもしれませんが、洋一ガーデンに集えば、自然に声をかけ合い一緒に遊べる仲間になれるのです。「洋一ガーデン」は、興味関心が同じ仲間と集い、だれもが楽しく夢中になれる場所になっています。そして、ふらっと一人でやってきた子どもも動植物とふれあい、安心な居場所になっています。

学校は「だれもが安心な学び舎」であることが最も大切だと思います。これが本校の重点取組としている特別支援教育です。学びの場としては、一般学級。少人数で学ぶ個別支援学級、特別支援教室、国際教室、通級指導教室もあります。一人ひとりの教育的ニーズに応じて、学びの目標を明確にした環境で学ぶことは、子どもの自己肯定感を高め、学びの意欲や自分らしさを大切にした生き方に繋がっていきます。

「だれもが安心な学び舎」とは、どこで学んでいても、すべての子ども一人ひとりに安心な居場所があり、そこで自己肯定感を高める学びができていく学校であるということです。4月の学校だよりの「みんなちがって みんないい」とは、他者への見方・考え方であるとともに、自分自身への見方・考え方でもあります。

今後も「だれもが安心な学び舎」となるよう特別支援教育の推進に努めて参ります。保護者・地域の皆様のご理解とご支援をいただけますよう、よろしくお願いたします。